



東洋産業だより



Vol. 161
2017年6月号



チャコウラナメクジ

気温も上がり、じめじめした季節がやってきました。屋外はもちろんのこと、屋内でも生き物を目にする機会が増えてきたのではないのでしょうか。

特にこの時期よく見かける生き物にナメクジがいます。ナメクジ類は巻貝の仲間、陸上で生活し、貝殻を持たないものの総称です。中でも異物や害虫として一般的によく見られるのはチャコウラナメクジという種で、背面には二本の黒線と小さな甲羅状の殻を残しているのが特徴です。ナメクジは雑食性で、花卉園芸作物や農作物だけでなく、時にはネズミ用の毒餌も平気で食べてしまいます。さらに、ナメクジが通ったあとは、粘液が残ってしまうので、製品の汚損の原因となることもあります。

実際に試した方もいらつしやると思いますが、ナメクジに塩や砂糖をかけると体内の水分が奪われ、どんどん小さくなっていきます。もちろんそのまま放置すると最終的には死んでしましますが、その前に水で洗い流すと、再度動き出すことがあります。また、ナメクジが発酵食品や麦類を好む性質を利用した「ビールトラップ」もよく知られています。ナメクジが生息しているような場所に、ビールの入った深めの器を適切な場所に置いておくと、誘引された多数のナメクジが容

器内に落ちて死にます。ただし、ビールトラップは管理が難しく、早期に効果が落ちたり、他の虫の誘引源になってしまったり、ビールを使用するため、コストがかかるのであまり実用性があるとは言えません。

ナメクジを駆除するためには、まず現場の状況を把握し、環境の改善から行わなければいけない場合がしばしばあります。ナメクジの隠れ場所（コンクリートの割れ目や閉鎖空間）をなくすこと、出来る限りドライな環境を作ること、野菜くずのような食べ物を残さないことで、生息させないことが大切です。ナメクジは一般の殺虫剤が効きにくいので、駆除することが難しいものの一つです。リン酸第二鉄やメタアルデヒドの製剤が効果的ですが野生動物にも影響する可能性があるため、使用場所をきちんと考えなければいけません。有効な駆除剤と併用しながら環境改善をしていきましょう。



乾燥食品から発見されたチャコウラナメクジ

お知らせ：「事例に学ぶ防虫防鼠管理の在り方」セミナーのご案内

毎年ご好評頂いておりますセミナーを今年も開催します。今回は、実際の製造現場で行われている防虫防鼠に関する取り組みについて、防虫業者の立場、およびメーカーの立場から、事例を中心に紹介します。ぜひご参加ください。

詳しくは弊社のWEBサイトの情報をご覧ください。営業担当もしくは、本社セミナー担当までお問い合わせください。

【講演内容】

- | | | |
|--------------------------|-----------|-------|
| 1.虫の混入事例とその原因、対策について | 東洋産業(株) | 大野 竜徳 |
| 2.設備・防虫防鼠の一元管理の有効性 | 東洋産業(株) | 吉田 篤史 |
| 3.メーカー報告～オハヨー乳業の自社防虫防鼠管理 | オハヨー乳業(株) | 滝本 展也 |

【日時】

2017年7月11日（広島会場）、2017年7月14日（大阪会場）、2017年7月21日（東京会場）
いずれも 13：00～16：40

【受講料】

5,000円/人（消費税込み）
※6月15日までにお申し込み頂いた場合、受講料は4000円（税込）となります。

【お申し込み方法】

弊社WEBサイト（<http://www.to-yo-s.co.jp>）のセミナー内「お申込みフォーム」から必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

【お申し込み期日】

各会場開催日の4日前（定員になり次第、受付を終了させていただく場合があります）



東洋産業株式会社

本社 岡山市北区新屋敷町3-1-19-20

TEL 086-2241-8080
FAX 086-241-8094

拠点 大阪・姫路・岡山・倉敷・福山・広島
高松・松山・金沢